

蓼科山山行報告

【山行日】2017年 8月 12(土)

曇り時々晴れ一時雨

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 4,000円

【メンバー】CL:鈴木、伊藤、大西、藤原、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P4:00=蓼科山登山口

P6:30/6:50~蓼科山山頂 10:25/10:40~將軍平

11:20/11:30~天祥寺原 12:20/12:30~竜源橋

13:35/13:45=岩舟支所 P18:00

今日は会津の三岩岳に登る予定だったが、会津方面の天気が悪く、天気が良さそうな蓼科山に変更した。来週の富士登山を控え、徳ちゃんとF原さんのトレーニング山行としてコースを選んだ。



朝方激しい雨が降り心配したが、昨日と同じように八風山トンネルを抜けると青空が見えるようになる。蓼科山登山口Pに着くと晴れていて、今日も雨の心配なく歩けると気持ちが明るくなる。

登山口にはトイレが無いと思い、途中の蓼科牧場のトイレで済ましてきたが、立派なトイレがあった。駐車場を出て左に道路を歩き、100mくらいの左側が登山口だ。笹原の道を緩やかに登り、カラマツ林に変るあたりから急坂になってくる。カラマツ林から広葉樹林帯に変

るとさらに傾斜がきつくなる。昨夜の雨で足元は泥濘で、水たまりを避けながら登って行く。ゆっくりしたペースで登り、後続に何組も追い越されてゆく。急登を登り切ると平坦な草原になり、ここが2113mの三角点がある地点。休憩を取りトマトや干梅を食べ、水分と塩分を補給する。展望も得られ、八子ヶ峰や白樺湖方面が望める。ダケカンバの林を抜け、シラビソの樹林帯に入ると岩交じりの急登になり歩きにくい。O嬢のペースが上がらず、少し登ると立ち休みで後続にどんどん追い越される。ようやく林を抜け出し、岩石帯の登りになる。ところがこのころからガスが掛かり、青空が見えなくなり日差しも無くなった。大きな岩が積み重なった登山道を登るが、山頂を巻くように登るので中々山頂に出ない。山頂直下の場所から、山頂に向かって直登しやっと山頂に着いた。山頂で記念写真を撮り、かなり疲れた様子なので、キュウリや菓子などを食べゆっくり体を休める。ここで昼食にしたいと要



望があったが、時間が早いので却下する。ガスが掛かり眺望は得られないので、体を休めたら山頂を後にする。



山頂から蓼科山頂ヒュッテに向かい、ヒュッテの前から將軍平に向かって降りて行く。ここからは登って来る登山者が多く、すれ違いに時間が掛かる。大きな岩石の下りは滑りやすく、足場に注意しながら慎重に下る。やがて樹林帯に入り、下りついた鞍部が將軍平だ。ここは十字路になっており、ダケカンバの大木に囲まれ蓼科山荘が建っている。時間が遅れているので、ここで昼食にしようか考えていたら雨が降り出し、予定通り天祥寺原

まで降りて食べることにする。將軍平の十字路を右に進み、シラビソの樹林帯の中を下って行く。やがて沢を下るようになり、大きな岩の間を下る道が分かりにくい。沢から山道に入る所にはロープが張られ、間違っず沢を下りないようにしている。やがて傾斜が緩くなり、カラマツ林の笹原を下るようになり天祥寺原に着く。ここでランチタイムとし、ラーメンを作ろうとすると雨が降り始めた。ラーメンを作るのを止め、お稲荷さんやおにぎりを急いで食べ、レインウエアーの上衣を着て出発する。ここからは滝ノ湯川に沿って緩やかに下って行く。カラマツ林の中、笹に覆われた登山道を下るが、笹に付いた雨がパンツに付靴の中まで濡れる。雨は10分くらいで止んだが、笹に付いた雨は残るので靴の中がビショビショになってしまった。途中から我輩が先行し、登山口駐車場へ車を取りに行く。竜源橋から右に道路を進むが、上り坂で結構きつい。駐車場で車を回収し、竜源橋の登山口で少し待つと皆が下山してきた。登りも急登できつく、下りも歩きにくい道で難儀したが、富士山登山に向けて良いトレーニングが出来た。途中、蓼科牧場でご褒美のソフトクリームを食べ、昨日寄った道の駅「ヘルシーテラス佐久南」でお土産をゲットし帰路についた。